

WG C (ダム跡地利用) ワーキンググループ 第2回会議・議事録

日 時 平成16年12月11日(土) 14:00~17:15
場 所 茅野市湖東地区センター
出席者 13名

配布資料 蓼科ダム建設事業 年度別事業費内訳
旧蓼科ダム建設予定地 平成7年(1995年)撮影(航空写真)
(以上2点は事務局より提出してもらったものを配布した)
「ダム跡地利用についての思いや構想(提言)」(14名から提出された)

会議概要 今回は11月末までに提出された「跡地利用についての思いや構想(提言)」
について意見交換を行った。その他情報交換など。

決めたこと 上記提言について未提出メンバーに再度呼びかけ年末までに提出して
もらう
「緑のダム」などについて学習を目的に講演会を企画する。森林文化の
会と共催で行う。
流域協議会全体の行事として行うよう15日の運営委員会に提案する。
追加提言を含めたグループとしての跡地利用の提言(概念)を1月末まで
に策定する。
そのために10人ほどで小委員会を作り1月10日ごろに開催する。

主な意見など(発言は要旨である、発言者氏名は省略)
大手開発業者によるリゾート開発再開の動きがある。われわれの跡地
利用なども潰される可能性もある。学習の機会を作りメンバーの意志
統一を図る必要があるのではないか。
ダム跡地周辺の動きも要注意(田んぼから標高3000mの縦の線まで考
える)
跡地利用は誰のためのものかもう一度確認の必要がある。
森林モデルや市民の森として中間でもよいので早く提言すること。
財政難のおり植物園ファンドの構想もある(海外来客を見込んで)
流域協以外の周辺住民も交え地域の将来展望も見据えて発展を考える。
諏訪湖汚染とも絡めて考えていく必要がある。

「跡地利用の提言」未提出のメンバーの方へお願い

上記の通り、12月末までに流域協事務局までご提出下さるようお願いいたします。